

(様式1)

令和2年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 33	提案機関名 農業技術センター横浜川崎地区事務所
要望問題名 ヤпонノキ‘八剣枝垂’の育苗方法、利用方法の検討	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 【背景】 植木生産においては新樹種・品種の導入は恒常的に行う必要があり、果樹花き研究課にて育成されたヤпонノキ‘八剣枝垂’は管内生産者も注目しているが、育苗方法、利用方法等に不明な点が多い。 【内容】 ‘八剣枝垂’の効率的な育苗方法、移植性、利用方法、‘Pendula’への接ぎ木方法等の検討をお願いしたい。 【対象地域及び規模】 セレサ川崎農業協同組合植木盆栽部（160人）、横浜農協植木部（約300人）	
解決希望年限	①1年以内      ②2～3年以内      ③4～5年以内      ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター    ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名 農業技術センター	担当部所 生産技術部果樹花き研究課
対応区分	①実施    ②実施中    ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可
試験研究課題名 (①、②、④の場合) I-2 (4) 花き・観賞樹の高品質・安定生産技術の開発 カ 観賞樹の効率的な栽培技術の開発	
対応の内容等 ヤпонノキ‘八剣枝垂れ’の育苗方法については、施肥管理を中心に早期育苗方法の試験を実施します。併せて、移植性及び、‘Pendula’への接ぎ木方法についても実施します。また、利用方法については、最近の多様な利用方法を想定した適性試験を実施します。利用方法については、現地での試験を併せて実施するのが有効と考えられますので、ご協力をお願いします。なお、具体的な試験方法につきましては、植木生産者及び普及指導員と意見交換を行いながら進めていきたいと考えております。	
解決予定年限	①1年以内      ②2～3年以内      ③4～5年以内      ④5～10年以内
備考	